

頸城山系・放山

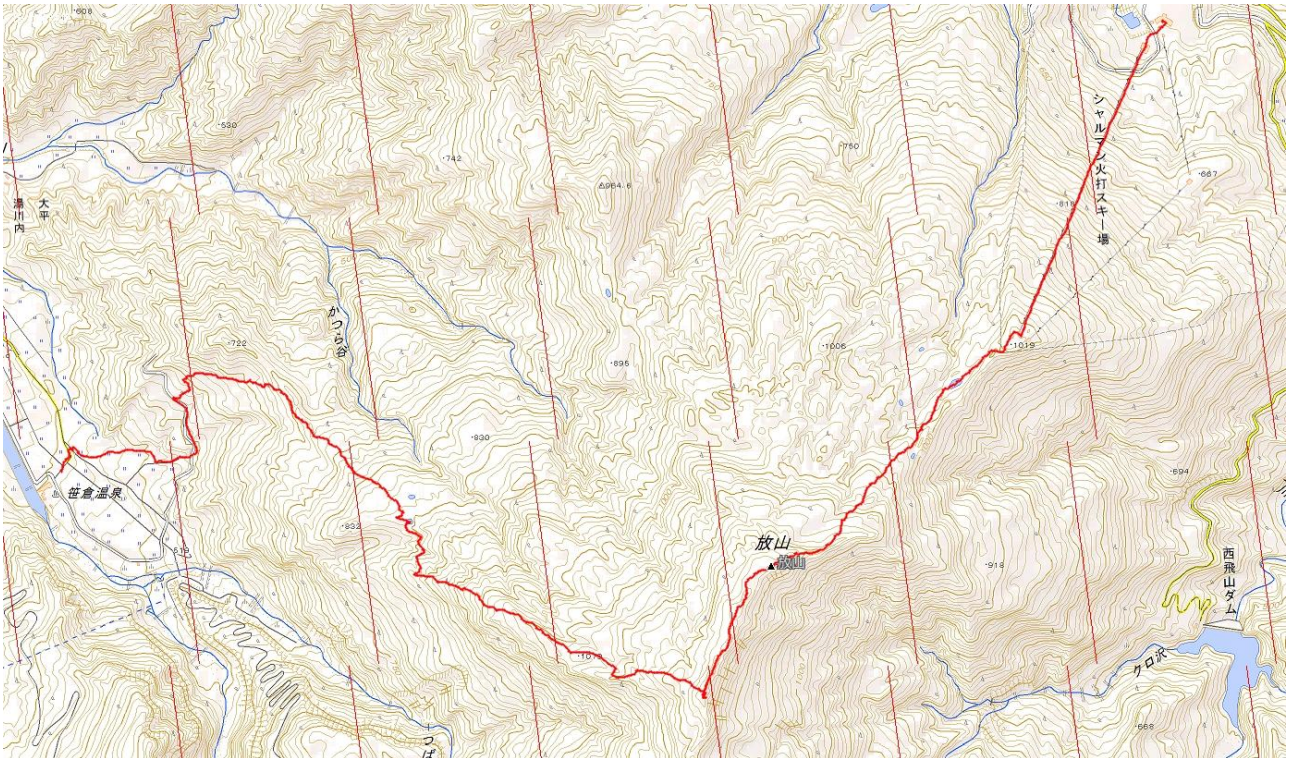
【日程】2019年2月23日

【エリア】頸城山系・放山

【形態】山スキー

【メンバー】Y、N、O、このほか新潟県彩山岳会より（T、I、K）

【報告】O



《ルート／タイム》

2月23日

シャルマンスキー場リフトトップ(10:30)～放山(11:30)～ドロップポイントにて休憩(12:00-13:00)
～滑走～放山温泉(14:40)

《報告》

2月23日

前夜8時30分頃に奈良市内を出発し、一路新潟へと車を走らせる。新潟峡彩山岳会主催の山スキー山行は毎年のように実施されているものの、私にとって今回は初めての参加となる。その日の晩は深夜1時30分前に親不知の道の駅に到着し、ここでテントを張り仮眠をとる。

翌日迎えた朝は明け方から降り始めた雨だった。低気圧の関係でそれほど好天気は期待していなかったが、まさかの雨とは。ただ、次第に雨は上がり、峡彩山岳会の皆さんと待ち合わせの時間の頃には曇り空に変わっていた。

1台を笹倉温泉にデポし、もう1台はシャルマン火打スキー場へ車を回す。今回はスキー縦走となる。糸魚川駅からは無料でシャトルバスがスキー場へ向かってくれる便があるので、車回収以外の残りメンバーはこちらの便を利用させていただく。それにしても駅周辺は2月の新潟というのに雪がない。

スキー場へ10人ほどを乗せたシャトルバスが移動するにつれ積雪量も増えてきた。スキー場の当日の積雪量は4m50cm程度。オフピステが60%程度というこのスキー場。登山届を提出し、リフトトップへ。

相変わらずの曇り空に加えて、ガスが立ち込めてくる。パトロール隊に入山を報告し、放山へ。シール歩行で約1時間30分。進行方向左側は切り立った斜面で雪庇の発達もかなりしっかりしている。放山のピークを越え、ドロップポイントちかくまで到着。徐々に視界が開け、今回滑走の終着点となる笹倉温泉がみえているのが判る。天候も徐々に安定してきたようだ。



風よけで大休憩（左）



1000m付近にて。上空の雲は厚い（右）

峡彩山岳会のTさんが風除けとなるポイントを見つけられ、ここで昼の大休憩となる。

1時間程度の間は風は弱まることはなかったが、天候は確実に安定してきた。我々がいる1200mあたり標高の高い山はまだ厚い雲に覆われている。

シールを外してのスキーは1年ぶりとなった。最初はやや斜度があるが1000mあたりに向かって徐々に緩やかになってくる。今朝の雨の影響か、このあたりでは新雪が降ったのであろう。ゲレンデを滑っている感覚になるくらい滑走しやすい斜面が場所によってはしばらく続いた。

ここからは2つの池がみえる地形（雪で埋まっているが）に向かって再び斜面が急となる。しかし、右寄りの尾根を選ばなければならないところを左に向かって我々のパーティは進んでしまった。途中で気づき、左から右に向かって細かい尾根を2～3つ乗り越えていくことに。登りに難儀したので板を途中で外したが雪の潜ること。本日の核心。

再びここで休憩。この頃には太陽もしっかりと確認でき、高気圧に覆われてきたことが実感できた。まるで春スキーのような天候だ。池のポイントからは樹林帯のツリーランド。雪質はだんだんとモナカ雪に変わり、皆ターンで一通り転倒。これもまた楽しい。

林道に合流すればあとは温泉までのゴールは近い。林道から途中で右に離れ、雪田を左に見ながら見えてくる赤色の温泉の屋根に向かって進んでいく。

今年は雪が少ないとはいっても、温泉周辺には立派な雪壁ができています。



雨飾山がしっかり見えている（左）



笹倉温泉 龍雲荘（右）

日本秘湯を守る会に指定された笹倉温泉でひと汗を流し、糸魚川駅までバスで45分ほど揺られて今回の山スキーは終わり。車周回組の方にはご苦労をお掛けし、再びシャルマン火打スキー場まで回収をお願いします。

メンバーの皆さんは明日、白馬乗鞍岳へ向かうとのこと。私は予定があり、糸魚川駅より奈良へもどることに。列車の待ち時間があったので、ご厚意により数名で近くの居酒屋で懇親を深める。来年は5月に峡彩山岳会主催の交歓登山が行われる予定なので、また参加できればと思う。